

肺の手術を受けられる患者さんへ

月/日	/		/	
経過	入院日～		手術前日	
達成目標	手術の必要性を理解できる 不安な事を医師・看護師に聞くことができ、心身ともに安定した状態で手術が受けられる 			
治療 処置 薬剤	手術後、痰の量が多くなったり、痛みで痰が出しづらい状態になるので、手術前から理学療法士とともに呼吸訓練を実施します (手術後も続行します)		21時に安定剤を内服します 	
検査	外来・病棟で、手術前に必要な検査を行います			
活動 安静度	制限はありません			
食事	制限はありません ※疾患によっては制限食になる場合があります 		 21時以降絶飲食です	
清潔	清拭・シャワー・入浴 		必ずシャワー浴,または入浴をしてください 	
排泄	制限はありません			
説明	・禁煙です！  ・入院時まで服用していたお薬があれば、医師・看護師へお知らせください (市販のサプリメントも含みます) 	・手術の流れについて説明に伺います ・手術後に下肢静脈血栓症や脳梗塞等を予防するためのストッキングを使用するため、サイズの測定を行います ・手術後に胸にバンドを装着するため、サイズの測定を行います	・主治医より手術の説明を行います ・麻酔科医、手術室・HCUの看護師が訪問に伺います ・手術後に必要な物品の説明を行います ・21時以降は絶飲食となります ・男性の方は髭を剃ってください ・女性の方は化粧・マニキュア等は落としてください ※HCU…高度で緊急を要する医療を行うための病室	

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるものであり、症状・経過によって異なります

D2_1001 2025年1月クリニカルパス委員会承認

肺の手術を受けられる患者さんへ

月/日	/		/
経過	手術当日（手術前）	手術当日（手術後）	術後1日目
達成目標		・呼吸状態・全身状態が安定している ・手術後、出血が見られない ・痛みを訴える事ができる	痛みをコントロールでき、安楽に過ごす事ができる
治療 処置 薬剤	・点滴を開始します（点滴は手術後まで続きます） ・手術開始時に感染管理の観点から抗菌薬を投与します ・手術衣へ着替え、弾性ストッキングを着用します	・手術後も点滴が続きます ・必要時酸素吸入を行ったり、心電図モニターを装着します（医師の指示で中止します） ・胸（創部）に管が入っています ・胸にバンドを装着します	・食事の量に応じて、点滴を終了します ・医師の診察後、許可があれば心電図・酸素を終了します ・痛み止めの定期内服が始まります（3日間の予定です。状態次第で延長する事があります） ・痰を出しやすくするため薬剤の吸入を行います
検査		術中のレントゲン撮影があります。	採血・胸部レントゲンがあります 
活動 安静度		ベッド上安静です 	医師の許可後、歩行できます 
食事	絶飲食です 		医師の診察後許可があれば、昼より7分粥、夕より手術前の食事に戻ります
清潔	本日は清拭・シャワー浴等は施行できません		看護師が清拭を行います 
排泄	手術室へ移動する前に排尿を済ませておいてください 	尿を出す管が入っています	歩行が可能になれば、尿を出す管を外します 管が外れた後は、トイレ歩行可です
説明	・時計・義歯・指輪・コンタクトレンズ・ウィッグ・湿布等、取り外せるものは全て取り外してください ・整髪料やボディークリーム・乳液・化粧品等は使用しないでください	手術後はHCUへ入室します	・胸（創部）の管が抜けるまでは、機械が乗った台を持って移動となります十分注意して歩行してください ※不明な点がありましたら、医師・看護師へお尋ねください

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるものであり、症状・経過によって異なります

D2_1001 2025年1月クリニカルパス委員会承認

肺の手術を受けられる患者さんへ

月/日	/	/	/	/
経過	術後2日目		術後3～4日目	
経過	術後5～6日目		術後7日目	
達成目標	安楽に過ごす事ができる		感染を起こさない	
達成目標	退院後の生活に不安がない			
治療 処置 薬剤	点滴は終了です 痰を出しやすくするため薬剤の吸入を行います 		・ 背中・の痛み留めの管を抜きます ・ 胸（創部）の管を抜きます （創部は専用のテープを貼ります） ・ 吸入は医師の指示があるまで施行します 	
検査	レントゲンがあります		(/)レントゲンがあります	
検査	(/)レントゲンがあります		(/)採血・レントゲンがあります	
活動 安静度	胸（創部）の管が抜けたら制限は ありません		制限はありません	
食事	制限はありません			
清潔	看護師が清拭を行います 		胸(創部)の管が抜けたらシャワー浴が可 能です	
清潔	シャワー浴が可能です（入浴はできません） 			
排泄	制限はありません			
説明	胸（創部）の管が抜けたら制限はありません 		・ 傷口のテープは次回外来 受診の際に除去し、抜糸等 行います ・ 退院後に剥がれたらその ままでかまいません。（傷口 から液が染みるときは外来 受診してください） ・ 次回外来受診時に入浴が 可能か医師へ確認してくだ さい	

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるものであり、症状・経過によって異なります